

## 第4回 江府町学校運営協議会【概要記録】

■期 日：令和2年12月8日（火）

■時 間：19：00～

■場 所：江府中学校 多目的ホール

<会議出席者>

【委員】 宮本会長、井上裕吉副会長、井上廉女委員、小椋委員、  
藤原委員、中川委員、長岡委員、山本委員、瀬尾委員、竹内委員  
欠席：遠藤委員、高津委員、船越委員

【事務局】 富田教育長、景山課長、森田教頭、山本教頭、竹田D

### 1 開 会

会長 前回9月の協議会で色々決定し（活動も始まった）。その件について、この後事務局に報告してもらおう。少しずつ前に進みだしたと思う。来年度は、春から活動できたらよいと思うのでまたご協力いただければ。

事務局 （竹田CSD紹介）

### 2 報 告（事務局）

事務局 学習・行事支援部では、「奥大山大根クラブ」という案が出た。会長さんが早速に動いてくださり、9月末に耕耘、畝づくり、その後種まき等（を実施）。10月に入ってから種まき、水やり、間引き等も11月にした。大根を持ち帰った児童の家族から、非常に喜んで帰ってきて早速料理をしてくれと言われたという話もあったとのこと。自分から参加したいという子ども達が参加、という形にされたが、83人中これだけの人数（平均30名程度）が自主的に参加しており、子ども達にとっても非常に充実した活動になっていると思う。（江府小の）先生方も参加されている。保護者の方にも案内したが、日中の出にくい時間ということもあり少なめだった。（地域の方は、）運営協議会の学習・行事支援部の皆さんが都合をつけて何回か顔を出してくださった。できれば、もう少し地域の方が参加していただくようになるとよい。全体協議や部会協議の中で、地域の方に学校に足を運んでもらう方法を皆さんから出していただけたら。小校長より補足を。

小校長 （資料にはない）12月4日（にも実施）。下の方の葉っぱを取ると生育が良くなるということをお伝えしたところ、子ども達も集まり教頭先生も一緒に作業をした。1年生の後に2年、3年が来てと五月雨式にみんなやってくる。このクラブのいい所は、自分の都合で出るとか、6年生が言ったらやってくれるとか、そういうところがある。1年生は遊びの延長で、（作業の）後も畑を走り回って遊んだりしている。上の子が下の子の面倒を見たりもしている。12月4日は（収穫に向けて）楽しく期待感のある活動になった。

会 長 雪が降ったら成長が止まる。天候が続けば、（収穫は）終業式に間に合うかなあと思っているところ。

小 校 長 24日が終業式なので、その前の22日（に収穫）がいいじゃないかと。その時に、藤原委員や井上委員にレシピを（紹介していただき）プリントにして大根と一緒に大根レシピももらって帰る、そういうのいいじゃないかと話している。

事 務 局 トライで始めた活動だが、子ども達が非常に喜んでやっているのは自分も姿を見て感じた。

続いて江府町一斉ながら見守り運動について。前回の協議会の中では期間を決めるのはどうかというご意見もあったが、事務局で検討し、まずは町民さんに活動を知ってもらうため強化期間を設けることにした。今も見守りは続いているが、特にこの時期は（がんばろう）ということで防災無線を流したり、チラシを全戸配布したりとかして取り組んだ。併せて、不審者対応でお互いが挨拶しにくいということも考慮し、見守りをしてくださる方には名札をつけてもらうよう準備した。各委員に3枚ずつ、会長には8枚お配りした。あわせて、防災センターと保育園と小学校と中学校にも何枚か置いた。ながら見守りの際、学校の近くまで出かけてするのは大変だという話もあったので、出来るだけ近くで名札が手に入るよう「えんちゃん」さんにご協力をお願いしたところ快く引き受けてくださった。移動販売車2台、店舗2店舗それぞれ置かせていただいた。現在、28枚持ち帰っていただいている。（えんちゃん代表の）遠藤さんがお客さんに「これもって挨拶しない」と声をかけ、我々の代わりに宣伝もしてくださったようで、それもあって枚数が出ていったのかなど。資料に名札、店舗に置いていただいている名札の様子を掲載している。教育長と私も朝の登校の様子を見て回ったが、ちょうど（家から）出ておられる時に、中学生が通って（あいさつを交わした）という姿も見かけた。資料には、小中学生へのアンケート結果も掲載。まずは、「自分自身がどれくらいあいさつができたか」というアンケート。「よくした」「だいたいした」というのが9割くらい。「あまりしなかった」という子もいる。全体的にできるようになっていくといいと思う。「登下校の時に地域の人から挨拶されたか」という質問では、中学生は下校が多いが、小学生は登校の方が多い。7割～8割の子ども達が地域の方から声をかけていただいたと回答。3番の「ながら見守り隊の赤い名札をつけている人に挨拶をされた」という子ども達は小学生47人、中学生は12人。名札を活用いただいた方もいらっしゃる事がわかった。「自分が使うバス停であいさつされたか」という質問には、それだけ（小41人中18人）の子ども達があいさつされたと答えている。初めての取組ではあったが、協力をいただいた地域の方も一定数はいらっしゃる。あいさつをしていただけるような雰囲気をもさらに進めていけるとよい。

地域活性化部会は、前回、荒神神楽は来年度という話があった。それとは別に社会福祉協議会が小学校の振替休業日を使って「こどもサロン」という活動をしておられる。その活動の中に地域の方と連動した活動を（とりいれてはどうか）という話があった。

（こどもサロンは）2学期に2回開催されていたので、社会福祉協議会に（活動の様子を）お聞きしてまとめた物が資料にお示しした内容。10月は日野防災レンジャーによる講義があった。昼食も防災食だったのかもしれない。防災に絡めてドローンの（操縦）体験なども実施され、かなり充実した活動をしておられると感じた。11月9日は、会長が声をかけて下さったということで、地域の方との交流が多く含まれている。会場の旧俣野小の近くの寺で法話を聞いたり、写仏をしたりされた。ほかにも民生児童

委員の方が昔の遊び体験の指導もしておられる。また、老人クラブの方にご協力いただいて一緒に焼き芋もされた。社会福祉協議会の活動ではあるが、学校運営協議会として、こういった活動が子ども達にとっていいんじゃないか、地域と子ども達を結ぶ活動になるのではないかということを伝え、一緒にやっていくのがいいのではと考えている。

委員の皆様のアイデアをもとに、現在のところこのような活動をしている。

## 2 協議

### (1) 全体協議

事務局 学校運営協議会の活動は議会にも報告している。その際、(議員の方より)「ながら見守り」の印は名札よりバッヂの方がいいじゃないかという意見があった。究極は、印はなくても「こんにちは、〇〇さん」となるのが一番よいと思う。それまでの過程としてバッヂの方がよいという意見があったので報告しておく。

会長 バッヂについての検討はされるのか。

事務局 (この後の部会) 協議でご意見があれば検討する。実際にその名札を使った様子や感想をお聞きしながら考えてもいいのかなと思う。必ずバッヂにしなければならないということではないと思っている。

委員 バッヂを作るなら、ひな祭りコレクションの時のように、子ども達に作らせるというのも子ども達の意識も変わっていいのではないかと思う。

会長 子どもさんがアイデアを出したバッヂを使うというのは非常によい。部会でバッヂという意見が多ければ、対応していただくということでよろしく願いたい。協議の方に入るが、事務局から何か。

事務局 1年目だが実績が残った。動き出したことは非常にありがたい。一方で、奥大山大根クラブは、地域の方に来ていただきたいという思いもあってのスタートだったが、子ども達の熱量ほど地域の方を巻き込むことができていない。もう少し改善の余地がある。ながら見守りに関しては、実際に挨拶に立ったと言ってくださった方もいらっしゃったし子ども達もあいさつをしてもらった。もう少し全町的にあいさつをしていただくような形になればと思う。より全町を巻き込んだ形にしていくことが次につながると感じる。

会長 「あいさつ」について。バスの子は、帰ってきたときは5時50何分で真っ暗。真っ暗な中で地域の人にあいさつしてくれと言われても難しい。朝は明るくなってきているからよいが。だからアンケートで帰りの方が少ないというのもわかる。夏場なら「ながら見守り」が一番よくできるのでは。

中学生に対する支援がなかなか見つけにくい。学校の方も色々検討いただきたい。小学生は割と動きやすいが中学生は忙しいしなかなか難しい。検討いただければ。では、部会協議に入る。

事務局 協議会はあと2回(開催を)予定。学校運営に対する評価や承認などが主な内容になる。来年4月、5月から活動するという想定でこんな活動をという話し合いをしていただけたら。

会長 継続するものもあるだろうし、新しく行うこともあると思う。よろしく願います。

(2) 部会協議< 30分程度 >

○学習・行事支援部      ○健全育成部      ○地域活性化部

(3) 部会報告・全体協議

藤原委員      (学習・行事支援部会報告)

会長に何回も学校に来ていただき、色んなことをしていただいたおかげでなんとか(奥大山大根クラブも)形になった。子ども達も自主的で、楽しそうにやっている姿がすごく印象的だった。自分で種を蒔いて育てているという実感があるようだった。来年は、夏場は学校の教材で(農園が)使われているので、また秋に何か作ったらという話になった。今年の課題として、地域や保護者の方の参加が少なかったので、いかにして興味を持っていただくか、参加していただくのかを考えないといけない。また、小学校はできたが中学校はできなかったので、中学校の意見も聞いて、何かできればと思う。小学校は今、裏山がとても人気。子ども達が駆けずり回ってケガをして遊びまくっている。そこをなんとか整備をしたいという思いがある。大人の考えではなく、ここはこうして欲しい、ここは残して欲しいという子どもの意見を聞きながら何か整備ができる方法があれば。平日では難しいかもしれない。素敵な自然の遊び場なので活用していければと思う。

長岡委員      (健全育成部会報告)

今年度は「ながら見守り」をした。見守りの名札をバッヂにということであれば、子ども達にデザインを考えてもらい、それを付けるのが良いのではないかとということだった。来年度は、中学生のボランティア活動というのはどうかという意見が出た。中学生が興味を持って参加しやすいもの、十七夜とかひなまつりコレクション、新春マラソンなど色々ある。団体に声をかけ、中学生が参加しやすいようにしてボランティアを募集する。参加賞などでTシャツがもらえるなどごほうびがあれば、子ども達の参加が見込めるのではないかと話が出た。

小椋部長      (地域活性化部会報告)

来年度は、神楽を是が非でもと思っている。小学校と中学校、合わせて2回しようと思う。小学校は6月、中学校は10月30日の文化祭の中で20分くらいという予定。学校と協議をしながら決めていく。観てもらうだけでなく、体験も何かの形でしてもらう方がいい。衣装、小道具、面などの展示や太鼓とか笛とか吹いてみたいということであれば、多少は触れられるような形で進めることはできる。これも学校と協議しながら、来年早々に決めていきたい。中学校は10月30日土曜日なので、神楽のメンバーもやりやすい。小学校はまだ日程は決まっていないが土曜日にしていただくとありがたい。時間とか演目についてはその辺りがはっきり決まってから、学校と相談しながら決めていこうと思う。もう一点、来年度は小学校なり中学校なりが地域に出向いて集落や地域の方々と触れ合えるようなことが出来ないかなという話が出た。小中学校で相談していただいて、こういうことがしてみたいということがあれば、それに沿った集落や地域を選んで、つなげていくというようなことが出来ればと思っている。相談をしていただいて、何かしたい事があればお知らせいただきたい。

会 長      (地域活性化部の)最後の意見は私の思い。全校は難しいと思うが、学年を決めてどこかの集落と交流していく。運営協議会で相手方も探していかなければならない。中

学校も1年生はこういう事をする、それを毎年続けていくとか。同じ集落でなくて違う集落に次々出ていくというようなやり方もどうか。学校の行事や授業との兼ね合いもあると思うが。小学校の場合は、今小原集落とやっておられる。これはこのまま大切にされたらいいと思う。何年生が行くのか。

小 校 長 3年生のブルーベリー狩り。

会 長 例えば、2年生が色々な集落に行くという取り組みはどうか。

小 校 長 1, 2年生は生活科という教科で町探検をやっている。「秋見つけ」などで俣野に行つて秋を見つける、葉っぱを拾う、そういうこともできると思う。そこはすぐにでもできると思う。

もう一つ。神楽について。6月の土曜学習は毎年十七夜をやるが、11月の土曜学習で神楽をしたらと思うがどうか。

小 校 長 構わない。

小 校 長 6月は体育館が暑くなるし、11月の方がよい。

小 校 長 暑い問題は話が出た。6月の土曜授業で一緒に出来ればそれもいいかと思ったが。

小 校 長 それは難しい。十七夜はシーズン物で6月と決まっている。11月の土曜授業の時に、しめ縄をやめて神楽はどうか。

小 校 長 学校で相談してもらえば。

会 長 色々な計画とか構想とか発言していただいた。何かあれば出していただきたい。

事 務 局 集落との交流という話。小原集落は今、小学生も中学生もいない。子どものいない集落は町内にもいくつか出てきている。その集落の方に子どもの姿を見てもらえば、地域の方も元気になると思う。子どもの人数は少ないが、そのような努力が必要だということに改めて思った。

もう一つ。「ボランティア活動」というのは具体的に何かあるのか。事務局で改めて相談するが、今の時点で候補があれば参考にさせていただきたい。

長岡委員 意見として出たのは、十七夜の土俵づくりと飾り付け。江府町でやられている行事全般に、何か関わっていただけらなということ。

委 員 十七夜は生徒になじみがある。自分達も行くだろうし、関心が高いのではという話が出た。「土俵づくり」というのが盛り上がった。

会 長 土俵づくりは、今誰がどのようにして作っておられるか。

委 員 役員。校長、教頭と教育委員会でやっている。

事 務 局 青年団の方も都合がつけば来られる。

会 長 意見をまとめていただき、具体的な案（アイデア）があれば、事務局に申し出ていただきたい。地域交流も具体的なものはまだ何もないが、地域と交流することが学校コミュニティの基本だと前々から思っていた。私が一人大根を植えるに行くとかでは話にならない。やはり地域の人と交流していく、地域の人も子どもを守っていく、ということが一番大切。もう一度原点に戻らないといけないなと思いながら話を聞いた。引き続きよろしくお願ひしたい。

#### 4 その他

～次回開催日について～

※第5回は、1月末～2月ぐらいに実施、第6回を2月に実施予定。

会 長 その他、事務局の方から学校給食の試食会の案内と校長先生から皆さんにPRしておきたいことがあれば。

事務局 地域の方を対象とした学校給食の試食会をしてはどうかという案が出ている。栄養教諭が給食センターの事業として食育の話も含めてそういう事をしたいという案を出したのがきっかけ。それなら学校運営協議会も共催すれば、委員さんも参加しやすくなるし、町民の方へも学校運営協議会として案内ができると思っているところ。食材の関係もあって2月の19日実施と予定。人数やメニューなど詳細は今後詰めていく。メニューはジビエとか入った方がいいかなど。内容が固まったら町報等で町民の皆さんに紹介する。一方コロナ禍でもあるので、状況によっては中止もあると思うので、そのあたり給食センターとも相談しながら学校運営協議会の活動として進めていけたらと思う。ご意見があれば事務局に連絡いただきたい。場所は、1月から稼働する新庁舎の部屋を考えている。給食センターが（新庁舎）の近くなので、準備もしやすいと思う。

会 長 募集人数は？。

事務局 会場の大きさにもよる。(感染症対策のため向かい合わず)、同じ向きで食べていただくことも必要。会場の大きさ、食材の準備の状況によって募集人数は変わってくるとは思うが、ざっと20名くらい。

会 長 応募が多かった場合等、検討していただくということで。次は小学校の校長先生。

小 校 長 アドベンチャーワールドに中野建子さんという江府町侯野の出身の方がおられる。自分の後輩だが、鳥大獣医学部に進学し、その後アドベンチャーワールドに就職してパンダ係になった。NHKに出演したりもしていたが、彼女にたまたま会う事があり、授業をやってくれないかとお願ひしたら、12月21日にしてくれることになった。4、5、6年生を対象に遠隔授業をしてもらう予定。

それから、クリスマスコンサートも予定。

会 長 なかなか参加できないが、情報を共有していただければ。

## 5 閉会

会 長 部会で協議をしていただき、来年度に向けた取り組みの方針が出てきた。ありがとうございました。学校と事務局と協議しながら、できるものから進めていきたいと思う。次回は学校評価。説明に時間がかかると思うので、協議の時間は短くなるのではないかなと思う。その中でも、次のステップに少しでも進めるようになるといいなと思う。本日はお忙しい中ありがとうございました。